|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **（１）避難訓練の実施等** | 指導時期等 | 主な指導場面 | 指導資料 |
| No | 必ず身に付けさせたい事項 | 具体の指導内容 |
| ① | 避難訓練に真剣に取り組むことの重要性を知り，危険を予測して回避する力を身に付ける。 | 1) | なぜ避難訓練をするか，理解する。 | ◎ | 教・行 |  |
| 2) | 避難訓練では，実際の災害を想定し，真剣に取り組まなければならない。 | ◎ | 教・行 |
| 3) | 避難訓練は，一度に多くの人々が行動するので，ふざけたりすると危険である。 | ◎ | 教・行 |
| 4) | 避難訓練では，先生の指示どおり的確に行動する。 | ◎ | 教・行 |
| ③ | 非常用備品を確認することの必要性を知り，災害に備える。 | 1) | 自分の家で考えられる災害を想定し，その際必要となる備品を家族で取りそろえておく。 | ◎ | 教・行 |  |
| 2) | 非常用備品は，定期的に状況を確認し，いざというときに使えるようにする。 | ◎ | 教・行 |
| ④ | AED（自動体外式除細動器）の効果や取り扱いについて知り，使用できるようになる。 | 5) | 自分の学校のＡＥＤの設置場所を確認する。 | ○　 | 教・行 |  |
| ⑤ | 学校が避難場所になったときに，支援のために積極的にかかわることができることを知る。 | 4) | 災害が発生したときに，学校が避難所として開放されることがある。 | ○ | 教・行 |
| ⑥ | 自分の住む地域の災害に関するハザードマップをしっかり認識する。 | 1) | 市町村から発表されるハザードマップを確認する。 | → | 教・行 |  |
| 2) | 自分の住む地域がどのような災害が起こりやすいのかを把握する。 | → | 教・行 |
| 3) | 通学路の周辺に土砂崩れの危険がないか把握する。 | → | 教・行 |
| 4) | 災害が発生したときの対応の仕方について，ハザードマップから想定する。 | → | 教・行 |
| 5) | ハザードマップは家族共通の危険回避のツールであるという認識を持つ。 | → | 教・行 |

指導時期：**○**機会を捉えて指導する時期，**→**継続指導の時期，**◎**重点的に指導する時期，**◇**再確認させる時期

指導場面：**教**＝教科等，**H**＝HR等，**行**＝学校行事，**部**＝部活動等，**日**＝日常

凡

例